

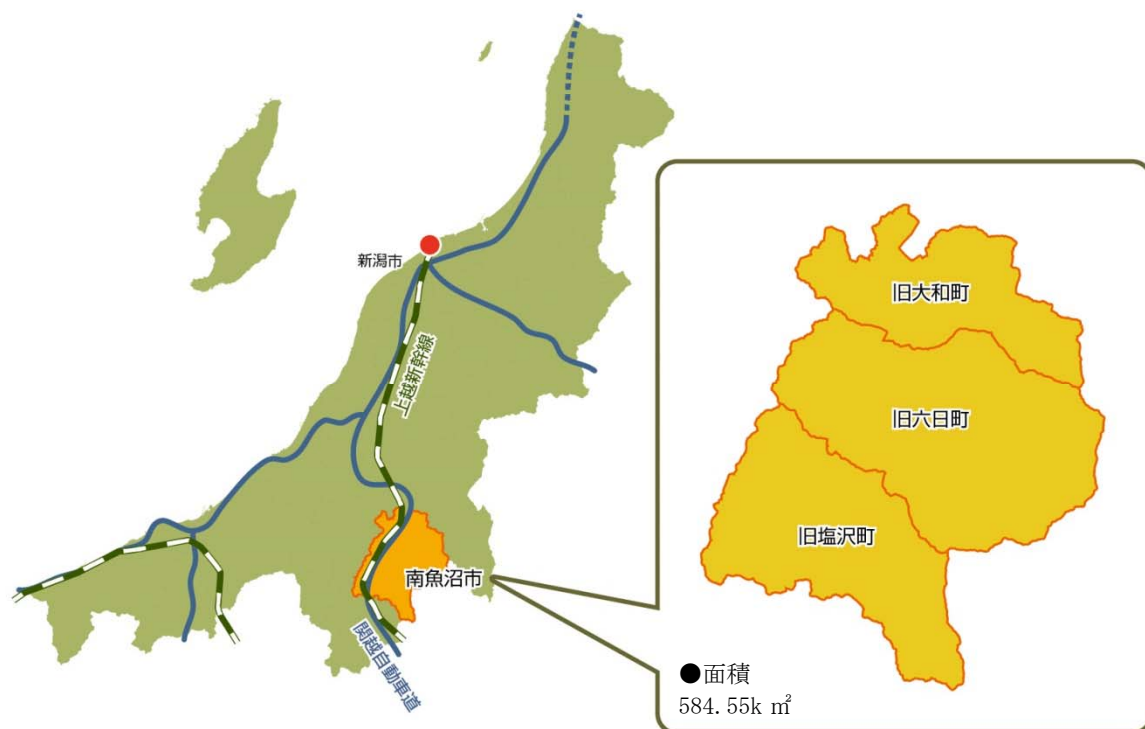
1. 南魚沼市の概況

(1) 位置と地勢

南魚沼市は、新潟県南部の魚沼盆地に位置します。市域の総面積は、584.55k m²で、新潟県の総面積の約 4.6%を占めます。

現在の市域は、明治 22 年 4 月の町村制施行により生まれた 40 村が、いわゆる「明治の大合併」を経て明治 39 年に 12 町村に集約されたことに始まります。その後「昭和の大合併」といわれる昭和 31 年から 32 年にかけての合併により、旧大和町、旧六日町、旧塩沢町の形となりました。さらに「平成の大合併」により、平成 16 年 11 月 1 日に旧六日町と旧大和町の合併による市制施行で「南魚沼市」が誕生し、平成 17 年 10 月 1 日の旧塩沢町の編入合併で新生「南魚沼市」となりました。

市域中央部を北流する清流魚野川と、その支流沿いには南魚沼産コシヒカリを生産する肥沃な水田が広がっています。そして市域を囲む八海山、中ノ岳、駒ヶ岳、巻機山などにより構成される越後山脈と魚沼丘陵、それらを源とする多くの溪流や清流があり、四季折々の自然環境に恵まれています。また、日本有数の豪雪地帯の条件を活かしたスキー場や温泉、レクリエーション施設など多くの観光資源を有しています。



■ 主要交通アクセス

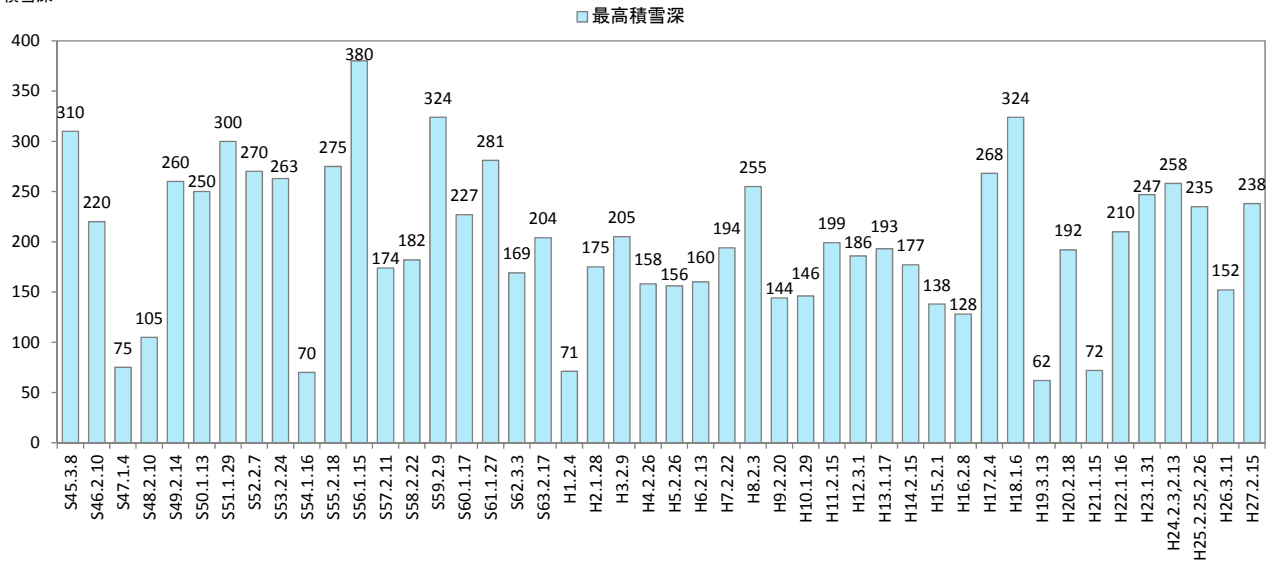
- ・ 関越自動車道 : 大和 S I C (ETC 車専用)、六日町 I C、塩沢石打 I C
- ・ 上越新幹線 : J R 浦佐駅
- ・ J R 上越線 : J R 八色駅、J R 浦佐駅、J R 五日町駅、六日町駅、J R 塩沢駅、
J R 上越国際スキー場前駅、J R 大沢駅、J R 石打駅
- ・ 北越急行ほくほく線 : 魚沼丘陵駅、六日町駅

(2) 気象

南魚沼市は冬期の積雪量が多く、日本でも有数の豪雪地帯にあります。最高積雪深が200cmを超える年も多くあります。

■ 降雪の記録

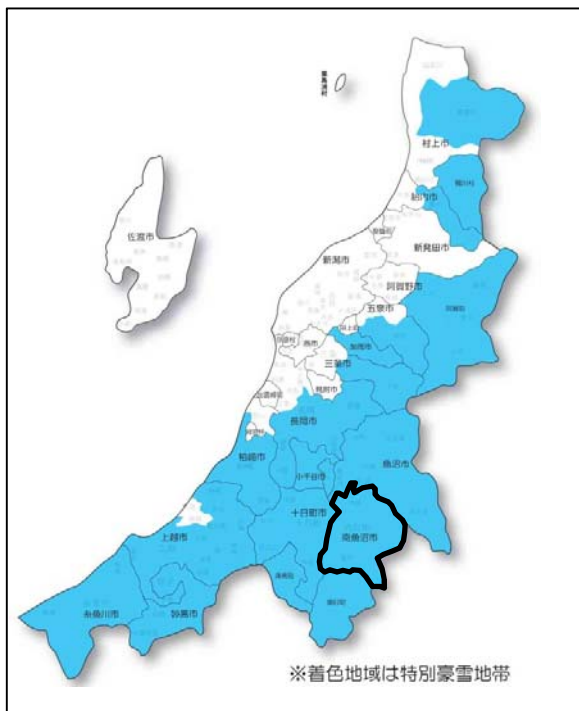
積雪深



資料：平成19年3月以降は 南魚沼市「過去の降雪記録」(本庁舎の最高積雪深)
平成18年以前は前回都市計画マスタープランより

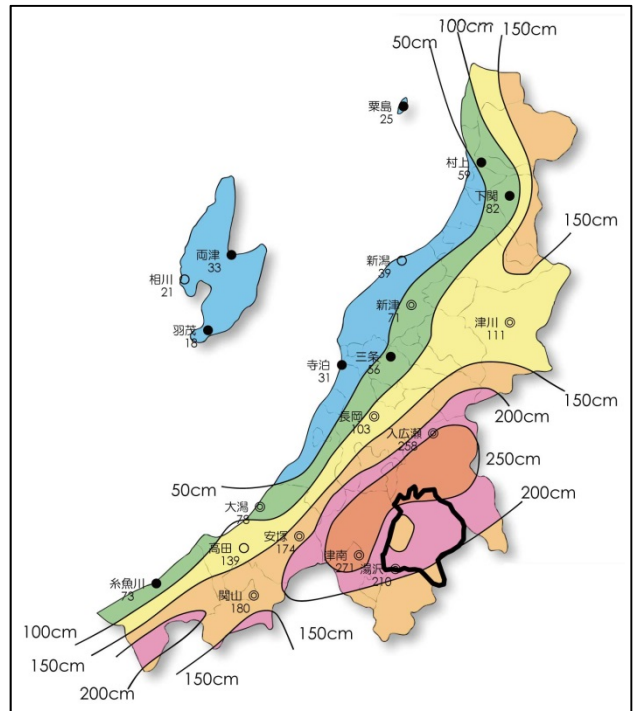
南魚沼市及び周辺の自治体は、豪雪地帯対策等特別措置法に位置づけられる「特別豪雪地帯」に指定されています。

■ 特別豪雪地帯状況



資料：新潟県HP

■ 積雪分布

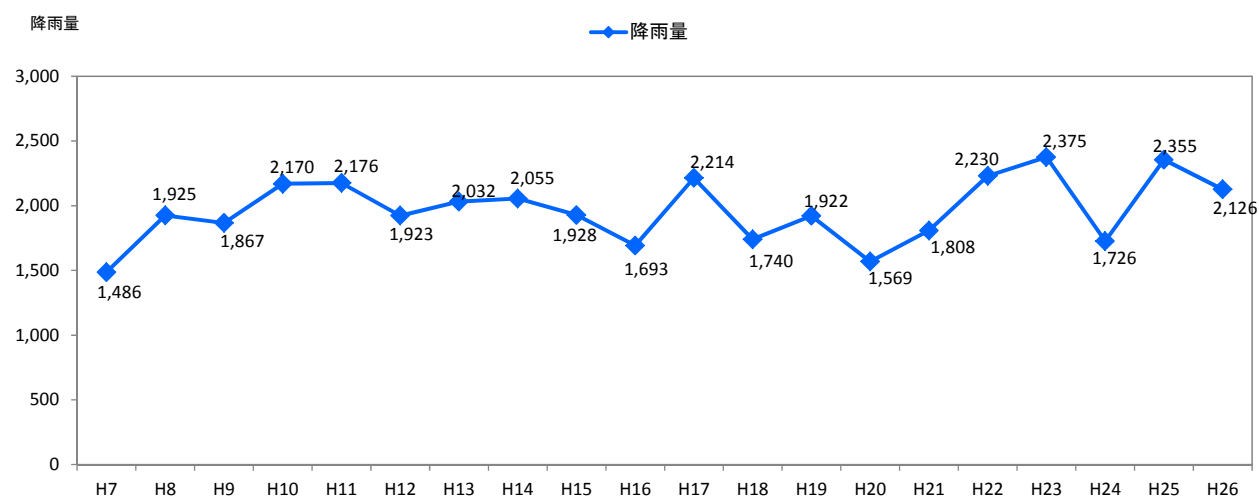


資料：新潟地方気象台HP

過去 20 年の南魚沼市の降雨量を見ると、年間 1,500mm～2,300mm で推移しています。平成 22 年以降の 5 年間のうち、平成 24 年を除く 4 か年は降雨量が 2,000mm を越えています。

■ 年間降雨量の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
降雨量	2,214.3	1,740.3	1,921.5	1,568.5	1,808.0	2,230.0	2,375.0	1,726.0	2,355.0	2,125.5

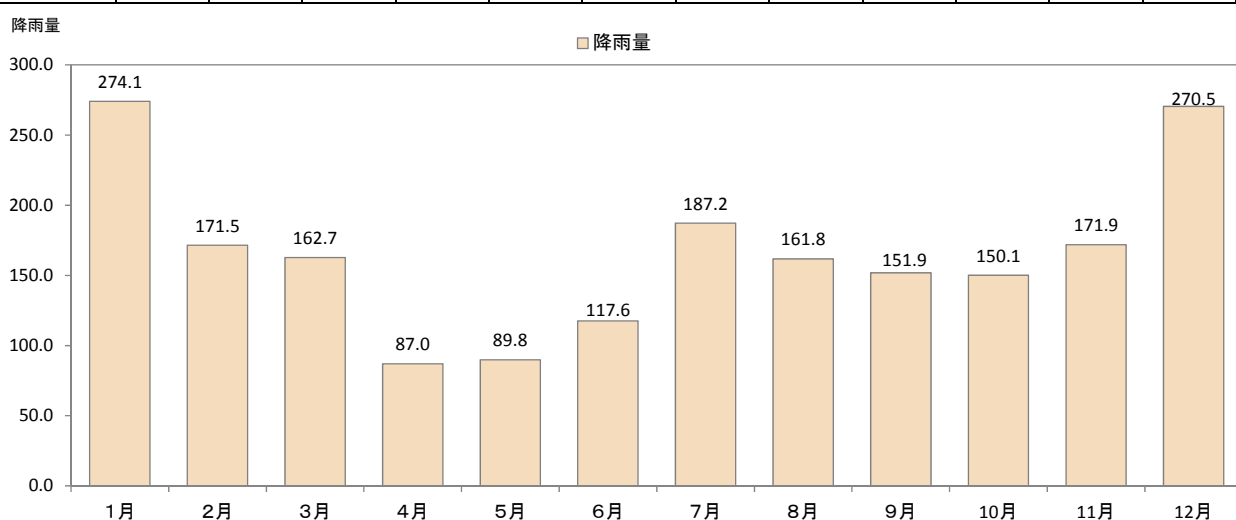


資料：南魚沼市資料

月別に見ると、降雨量が冬期の 12・1 月に多く春から秋にかけて少ない、典型的な日本海型の気候となっています。

■ 月別降雨量(平成7～26 の平均)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
降雨量	274.1	171.5	162.7	87.0	89.8	117.6	187.2	161.8	151.9	150.1	171.9	270.5



資料：南魚沼市資料

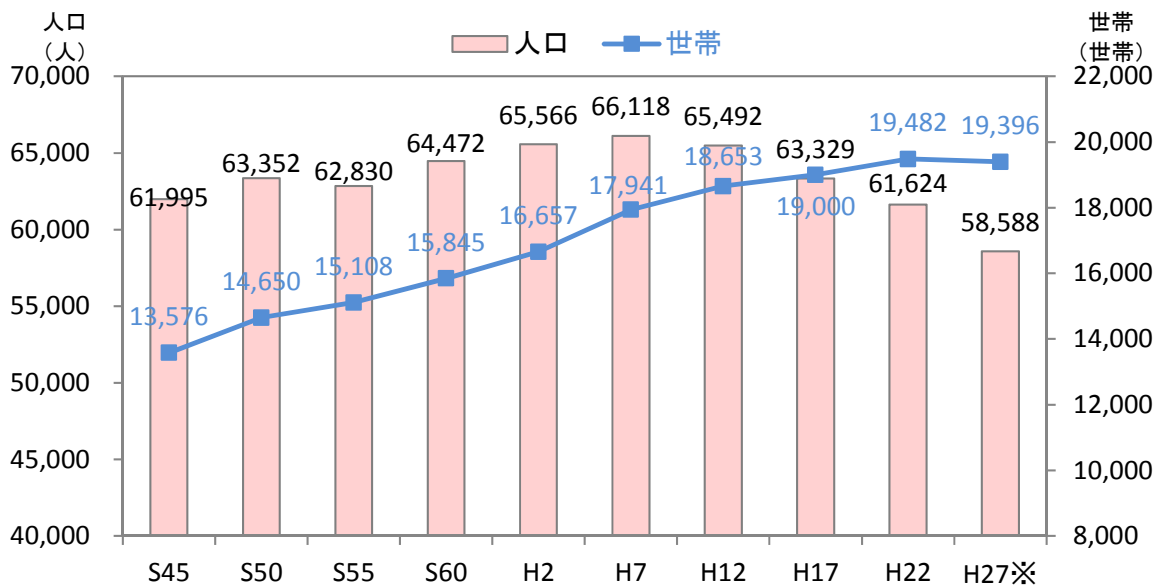
(3) 人口

①人口・世帯

総人口は、平成7年の66,118人をピークに減少傾向に転じ、平成22年には61,624人となっています。世帯数は、平成22年で19,482世帯となっており、増加の傾向を示しています。

市街地(用途地域)人口は、平成10年をピークに減少に転じています。人口密度も減少しており、市街地内の空洞化がうかがえます。総人口に占める用途地域内人口比率は3割弱となっています。

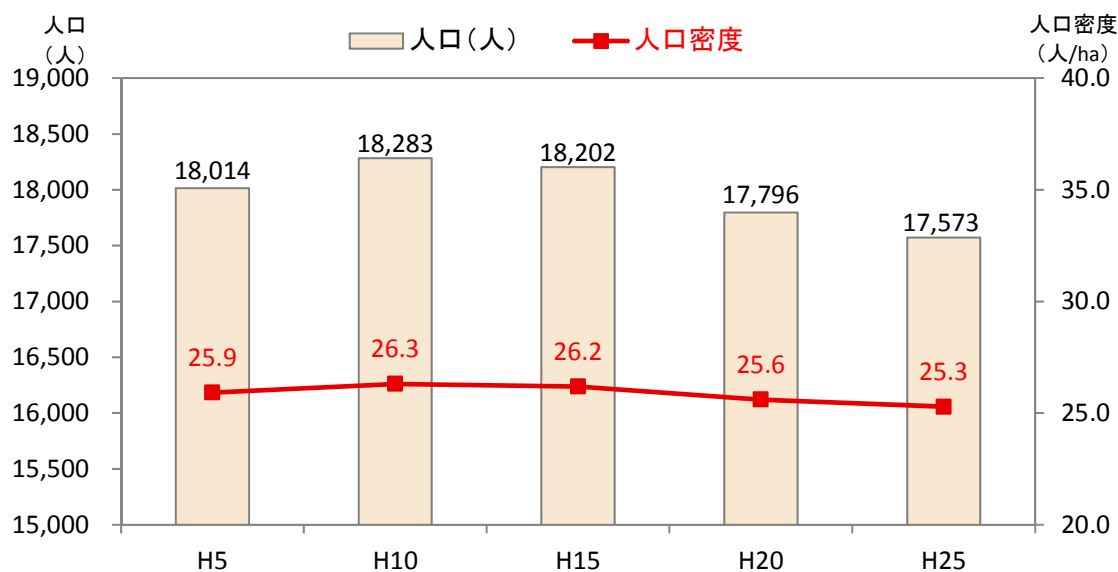
■国勢調査人口と世帯数の推移



※H27は速報値

資料：国勢調査(H12以前は六日町・大和町・塩沢町の合計)

■用途地域内人口・人口密度の推移

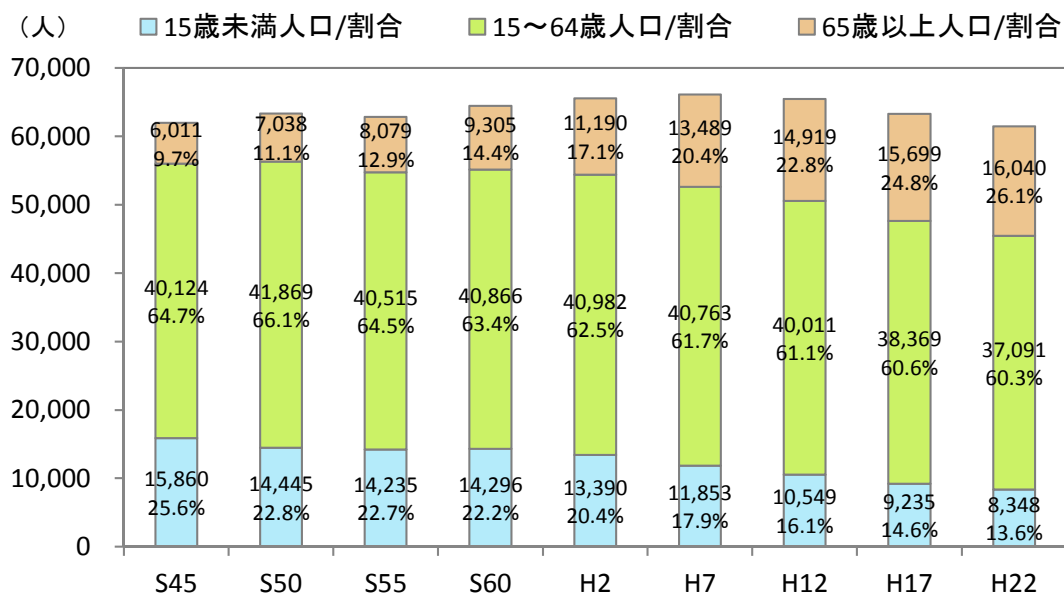


資料：新潟県の都市計画(住民基本台帳ベース)

年齢階層別人口では、年少人口(0～14歳)や生産年齢人口(15～64歳)の割合が減少傾向にあります。これに対して老年人口(65歳以上)の割合が平成7年には年少人口を上回っており、平成22年には26.1%となっています。少子高齢化の傾向は今後も進行すると予測されます。

近年の人口動態では、転出数と転入数は年による変動があるものの、ほぼ毎年転出超過となっています。また、死亡数はわずかに増加している一方、出生数は減少傾向にあり、自然減による人口減少が進んでいます。

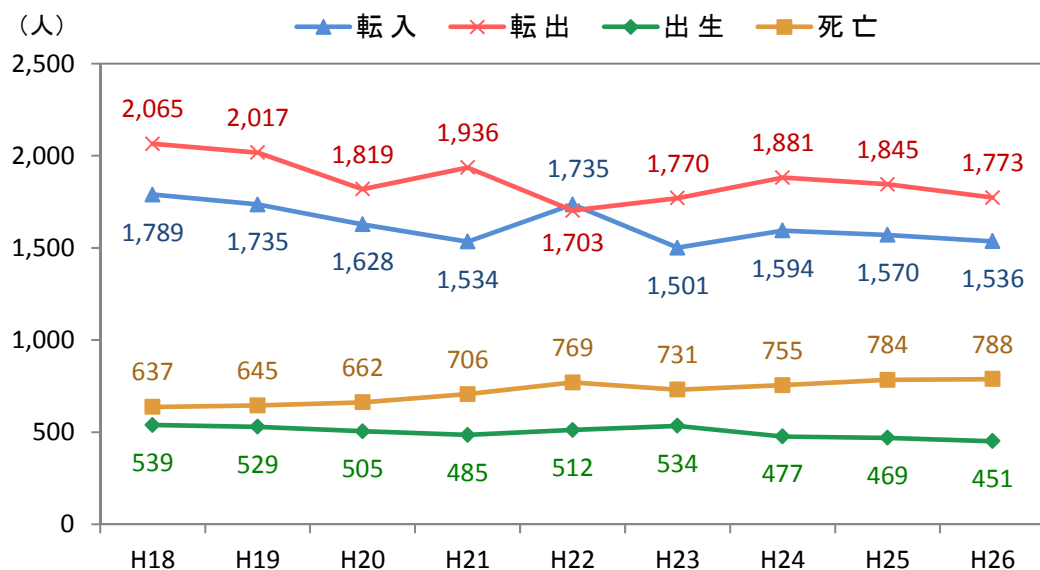
■年齢階層別人口構成



資料：国勢調査(H12以前は六日町・大和町・塩沢町の合計)

※年齢不詳を含まない。

■人口動態



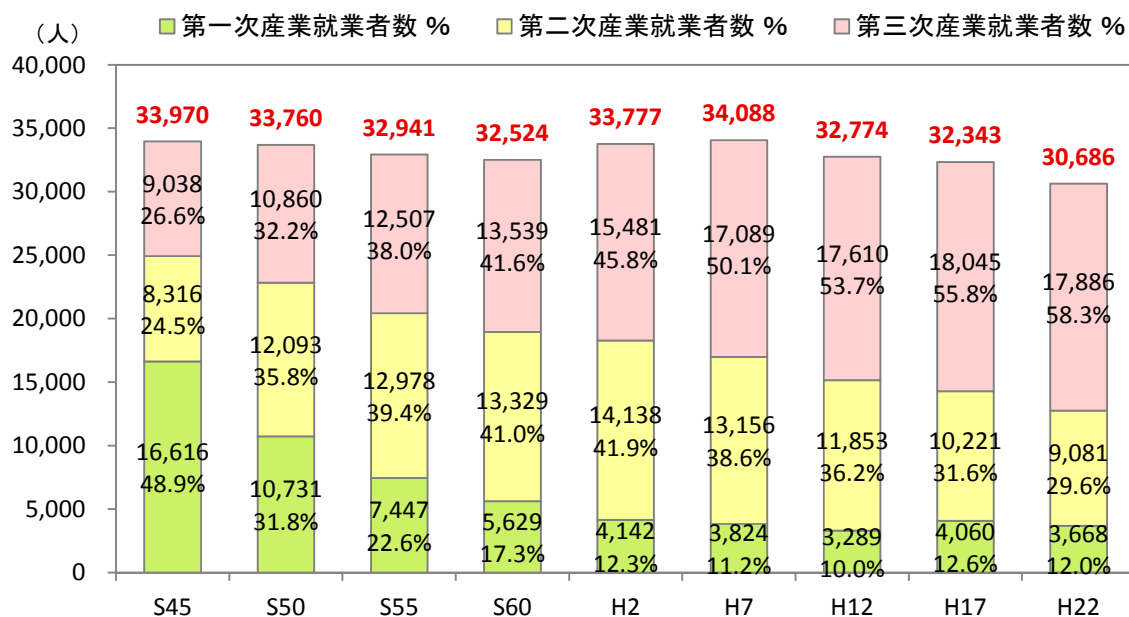
資料：新潟県の人口移動

②就業構造

産業分類別就業人口は平成7年の34,088人から減少傾向に転じ、平成22年現在、30,686人となっています。内訳は第1次産業が3,668人、第2次産業が9,081人、第3次産業が17,886人であり、就業人口は総人口の約49.8%を占めています。

産業別就業人口の割合の推移を見ると、第1次産業は昭和45年に48.9%であったのが平成22年には12.0%と大幅に減少しています。第2次産業は昭和45年から平成2年にかけて増加していましたがそれ以降は減少し、平成22年には29.6%となっています。第3次産業は昭和45年に26.6%であったのが年々増加し、平成22年には58.3%となっています。

■産業別就業人口



資料：国勢調査

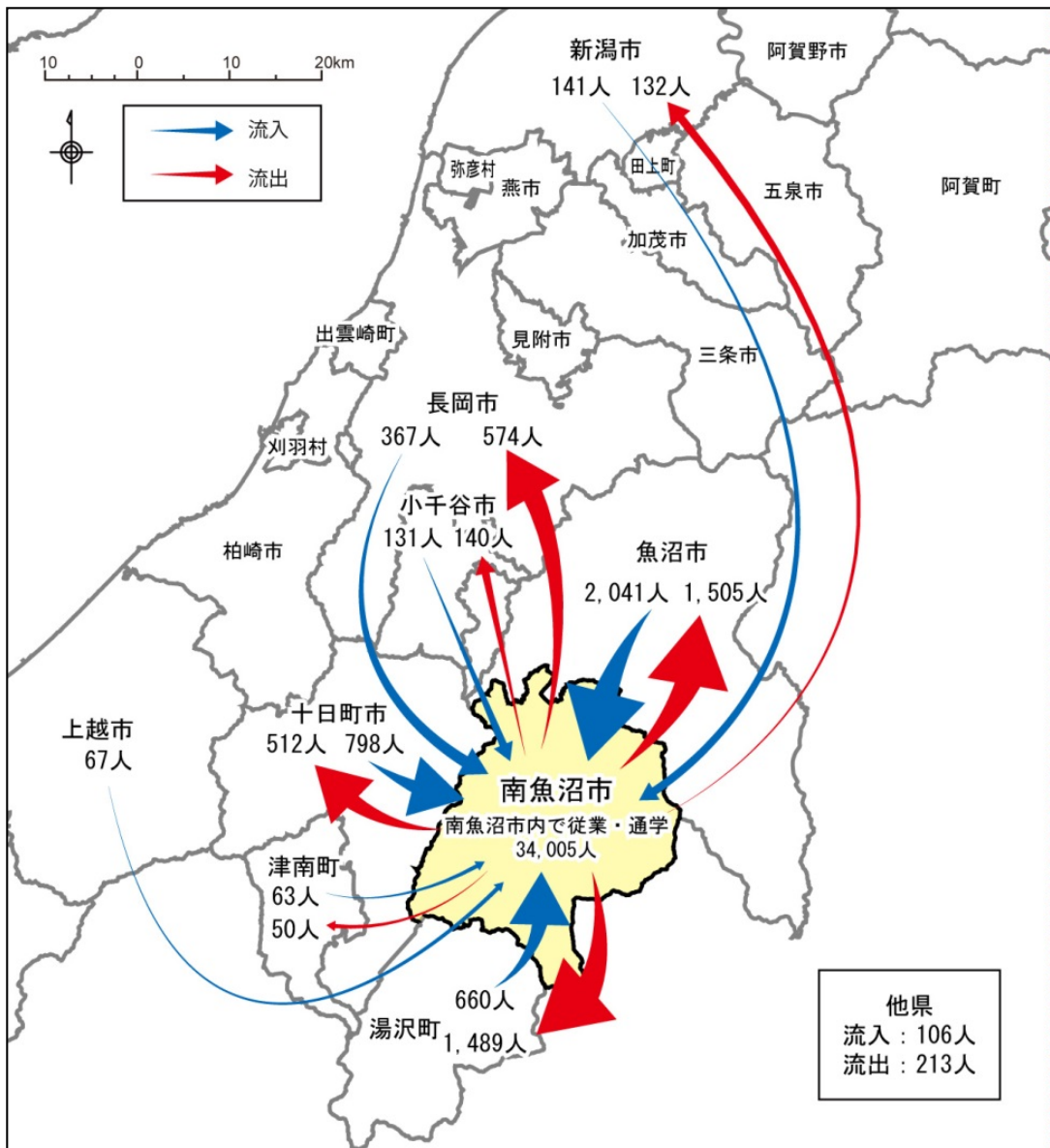
※総数には、分類不能の就業者数を含む

③人口の流出入

国勢調査による平成 22 年の昼夜間人口比率は 99.6%であり、昼間人口と夜間人口がほぼ同じとなっています。

平成 22 年の流入人口では、魚沼市(2,041 人)、十日町市(798 人)、湯沢町(660 人)が多く、流出人口では魚沼市(1,505 人)、湯沢町(1,489 人)、長岡市(574 人)が多くなっています。

■平成 22 年通勤・通学の状況



資料:国勢調査

■昼夜間人口比率

昼間人口(人)	夜間人口(人)	昼夜間人口比率(%)
61,363	61,624	99.6

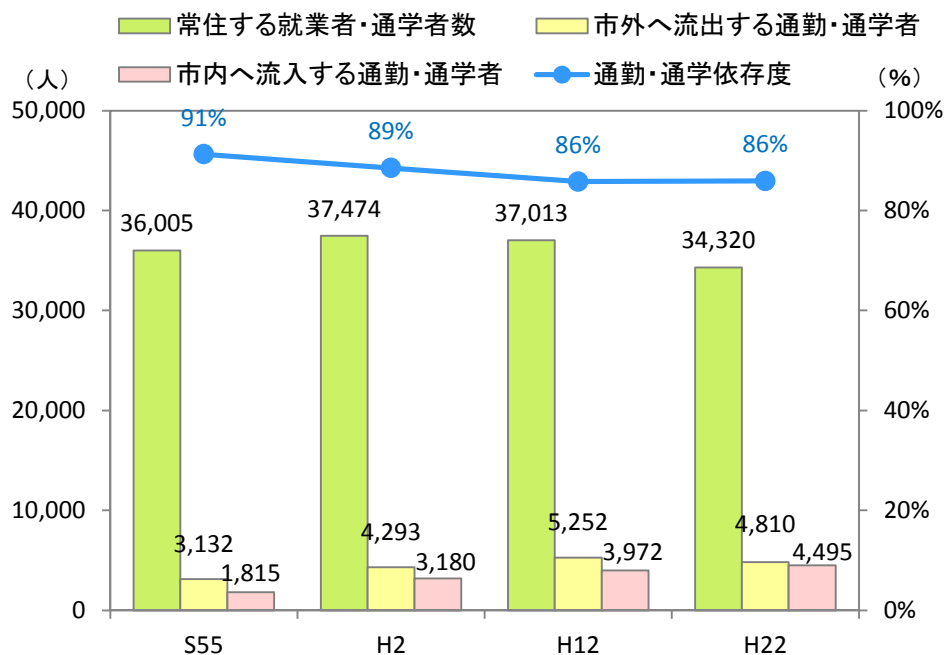
資料: H22 国勢調査

市内に常住する就業者・通学者は、平成2年の 37,474 人をピークに減少傾向となっています。

市外へ流出する通勤・通学者数は平成 12 年の 5,252 人をピークに減少傾向に転じる一方で、市内へ流入する通勤・通学者数は増加し続けており、平成 22 年現在は 4,495 人となっています。

市内に常住する就業者・通学者の市内依存度は低下傾向にありますが、平成 22 年現在で 86%となっています。

■ 通勤通学状況(15 歳以上の就業者数及び通学者)



資料：国勢調査

※通勤・通学依存度：南魚沼市に常住する 15 歳以上の就業者・通学者のうち市内で従業・通学する者の割合

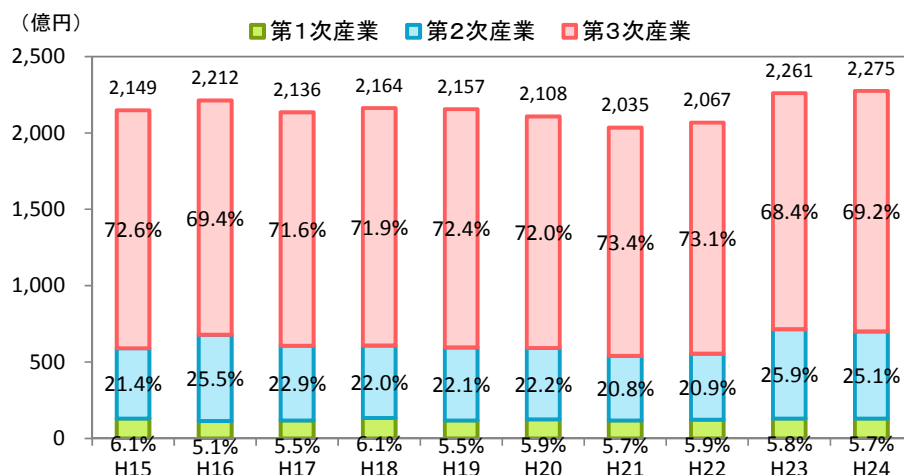
(4) 産業

①産業経済

市内の総生産は平成24年現在約2,275億円で、平成15年に比べ126億円増加しています。平成24年の産業別の内訳では、第3次産業が69.2%で最も多く、第2次産業(25.1%)、第1次産業(5.7%)となります。

南魚沼市では、第1次産業が総生産額に占める割合は5.7%で、新潟県(2.1%)と比較して高い割合を示しています。これは、米を中心とする農業生産額が占める割合の高さを示しているといえます。

■産業別市内総生産の推移

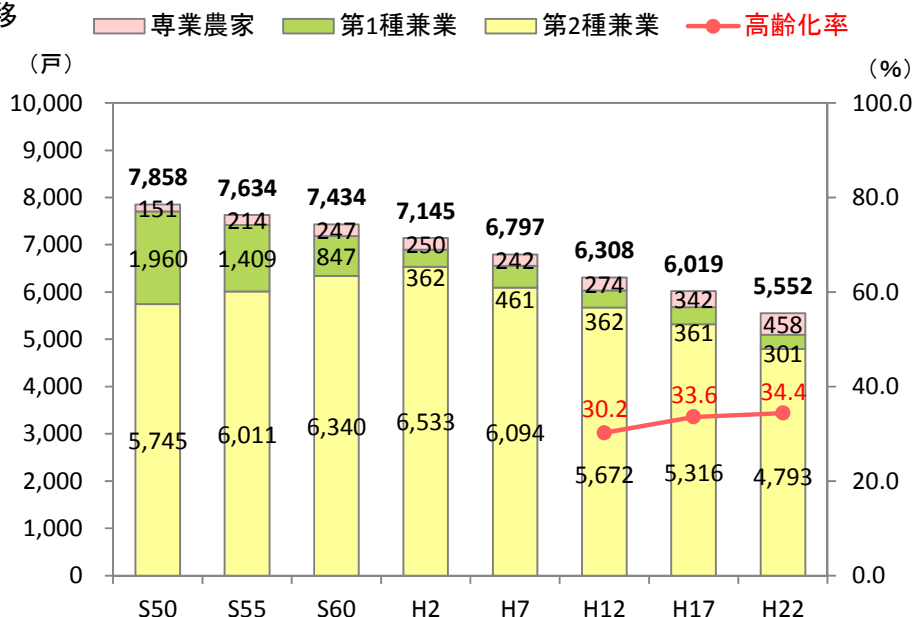


資料：新潟県 市町村内総生産・実額

②農業

平成22年の農家数は5,552戸で総世帯数の約28.5%を占めていますが、減少傾向が続いています。兼業農家は減少傾向にある一方で、専業農家は増加傾向にあります。

■農家数の推移



資料：農林業センサス

※高齢化率は、販売農家の農業従事者のうち65歳以上従事者の比率

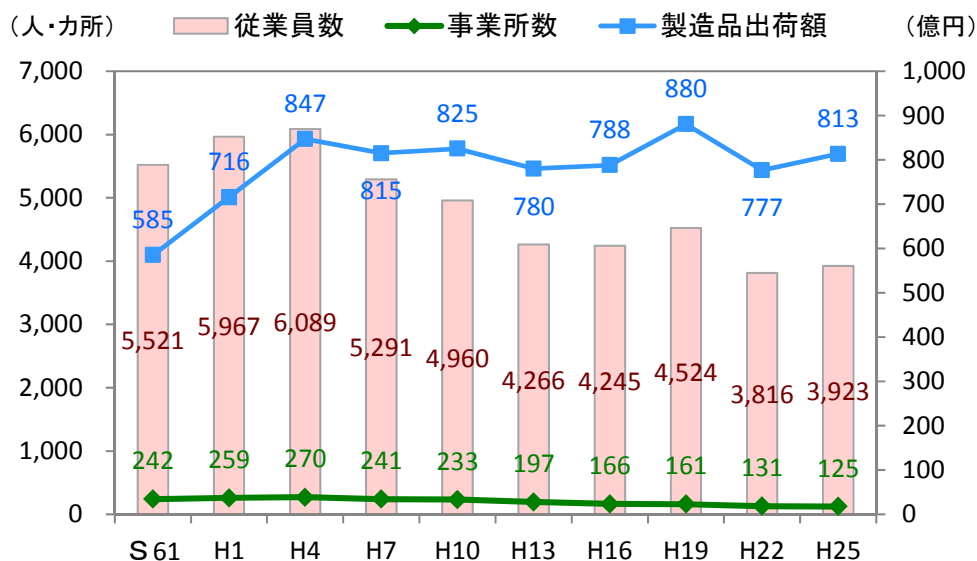
③工業

平成 25 年現在で 125 事業所があり、3,923 人が従業しています。

推移を見ると、事業所数は近年減少傾向で推移しています。従業員数と出荷額は、平成 19 年に増加しました。平成 21 年のリーマンショックの影響により平成 22 年に大きく減少しましたが、それ以降は再び増加しています。

産業分類別の出荷額割合をみると、食品製造業が最も多く、26.7%を占めています。

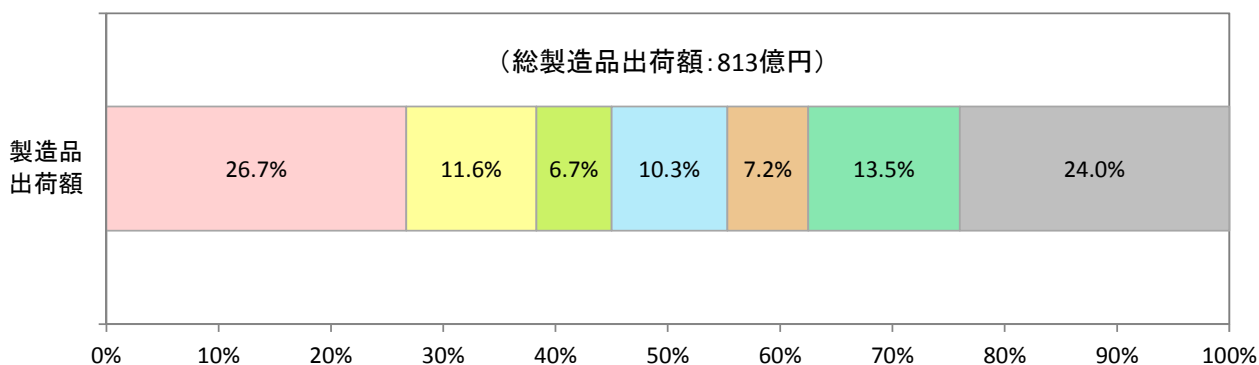
■事業所数・従業員数および製造品出荷額



資料：工業統計調査(H23 は H24 経済センサスのデータを利用)

※従業員 4 人以上の事業所

■産業分類別製造品出荷額の割合



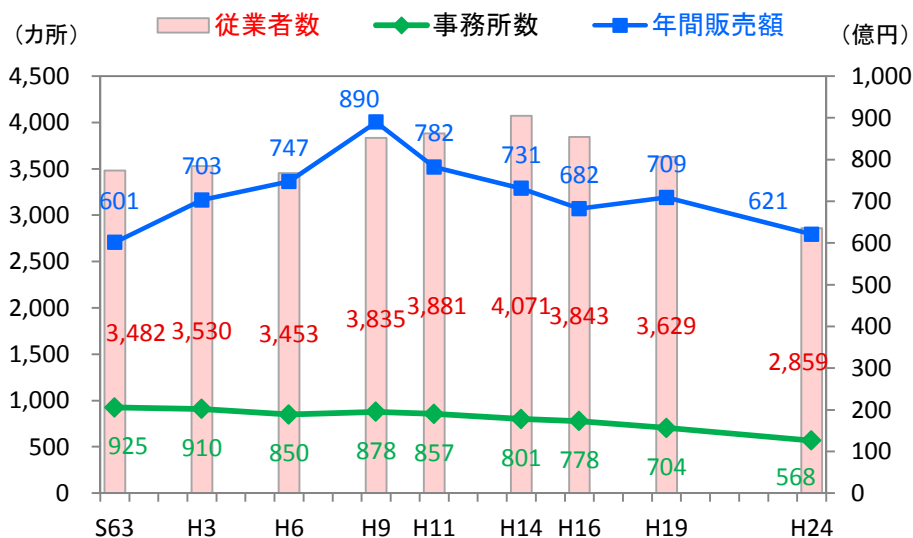
資料：工業統計調査(H25)

④商業

平成24年現在、小売業の事業所は568カ所あり、2,859人が従業しています。商業の推移を見ると事業所数、年間販売額ともに、平成9年を境に減少傾向ですが、年間販売額は平成19年にわずかに増加しています。

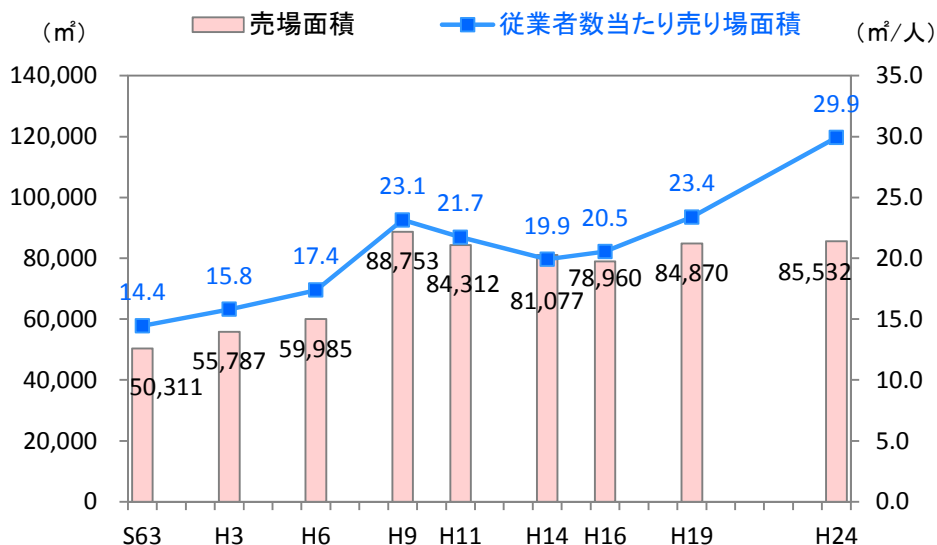
売り場面積は、平成8年に六日町IC付近に大規模店舗が立地したことにより、平成9年に大幅な増加があった以降はほぼ横ばいで推移しています。なお、従業者数が減少傾向にあることから、従業員一人当たりの売り場面積は増加しています。

■小売業の事務所数・年間販売額の推移



資料：商業統計調査(※H24は経済センサス)

■小売業の売場面積・従業者当たりの売り場面積の推移



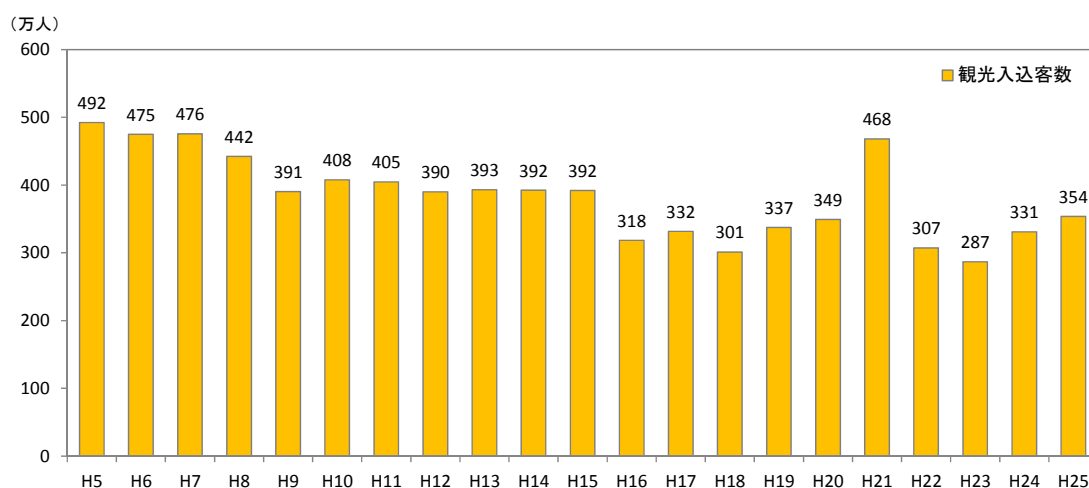
資料：商業統計調査(※H24は経済センサス)

⑤観光

観光客数は平成5年以降減少傾向にあります。平成9年以降は緩やかな減少傾向でしたが、平成16年の新潟県中越地震により大幅に減少しました。平成21年にはNHK大河ドラマ「天地人」の影響で増加しましたが、翌年には再び減少しています。平成23年以降は増加しており、平成25年時点で354万人となっています。

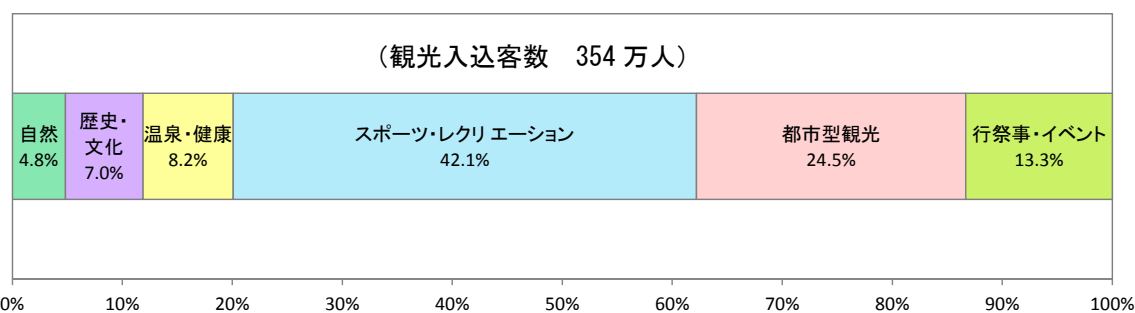
目的別観光客数の内訳では、「スポーツ・レクリエーション」が42.1%を占め圧倒的に多くなっています。近年では平成24年に開業した道の駅南魚沼の影響等により、「都市型観光」が増加しています。

■観光客の推移



資料：新潟県 観光入込客統計

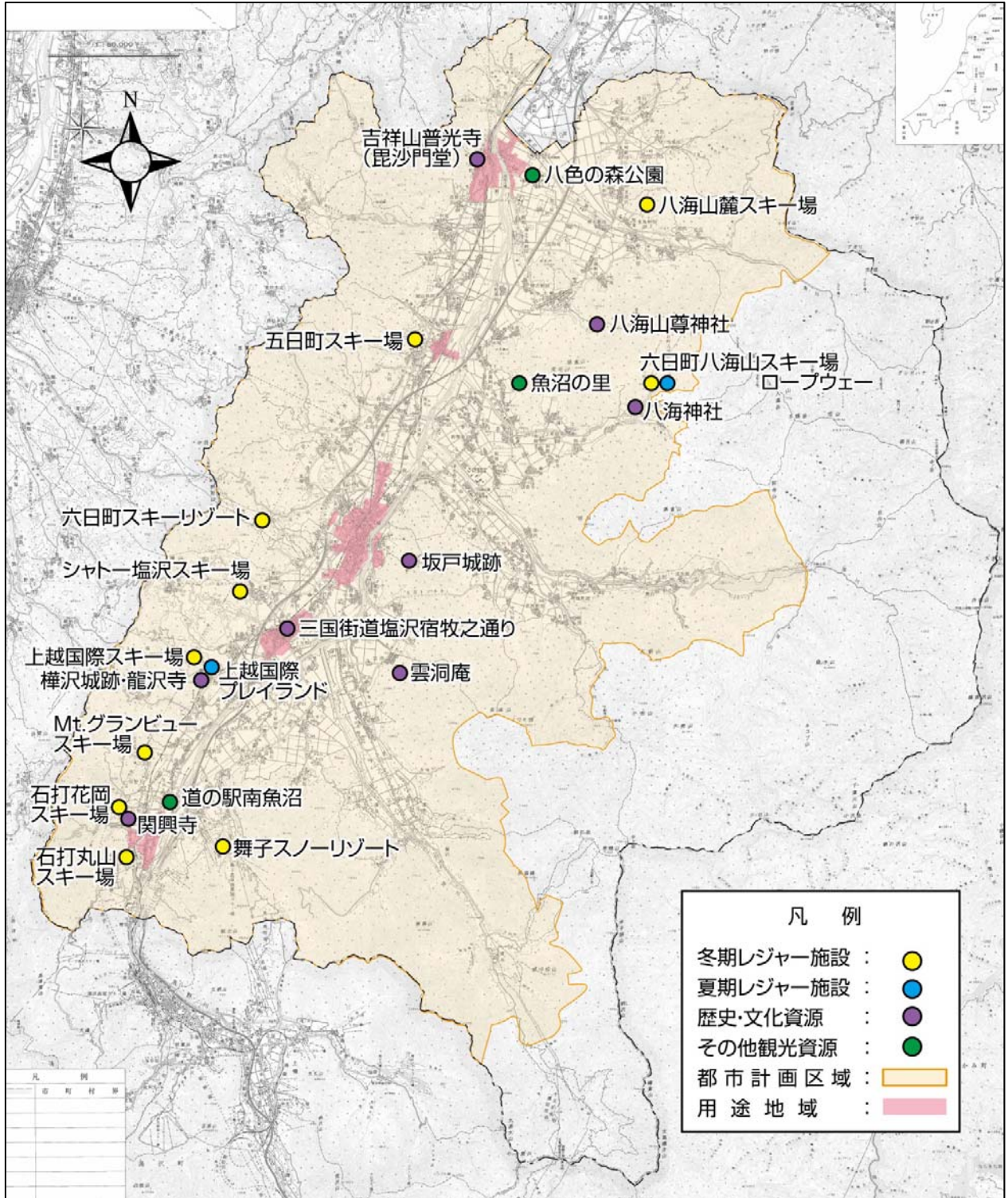
■平成25年目的別内訳



■平成25年季節別入込客数

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
利用者数	1,528,690	457,940	752,170	798,310	3,537,110
割合 (%)	43.2	12.9	21.3	22.6	100.0

■南魚沼市における主要な観光施設



資料：南魚沼市観光協会HP等

(5) 土地利用・建物利用

①法規制の状況

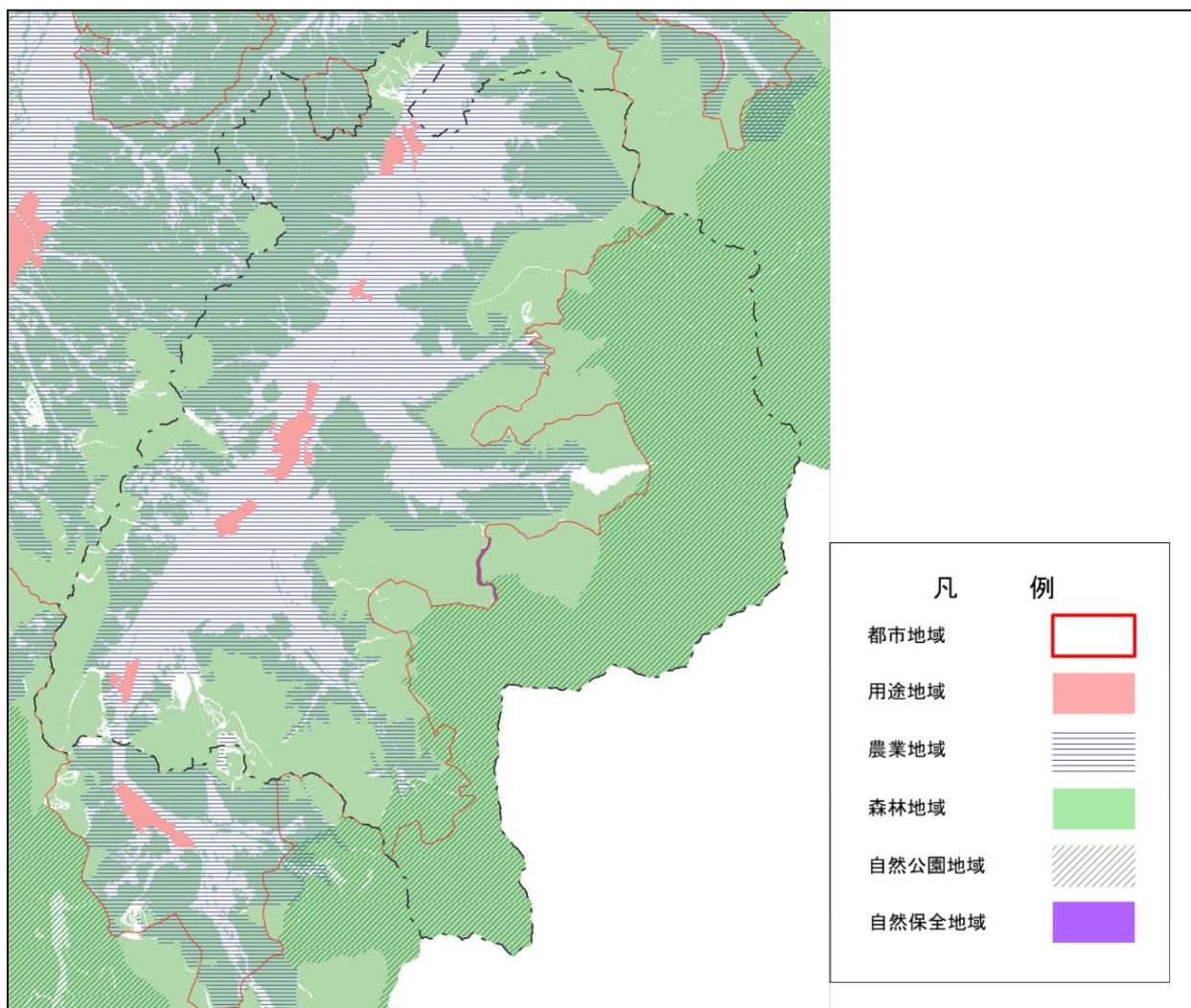
本市は、平成 17 年 10 月に現在の南魚沼市域となり、山間地を除く市域に「南魚沼都市計画区域」(面積 40,471ha)が指定されています。

なお、平成 25 年 3 月末時点での用途地域面積は約 695ha です。本市では、市街化区域及び市街化調整区域の指定はありません。

■5地域区分

	行政区域	都市地域	(ha)			
		用途地域	農業地域	森林地域	自然公園地域	
面積	58,455	40,471	695	26,855	44,235	16,692
割合	-	69.2%	1.2%	45.9%	75.6%	28.5%

資料：新潟県の都市計画(H27.3)、農林振興地域の現況地目別面積(H24.1)、新潟県地域森林計画書(H28.1)



資料：新潟県用地土地利用課所有資料(H25.4 時点)

②現況土地利用

平成 26 年における地目別土地利用の概要は、農地が約 7,191ha で 12.3%、宅地が約 1,558ha で 2.7%となっています。この 20 年間で宅地は 288ha 増加、農地は 107.7ha 減少しています。

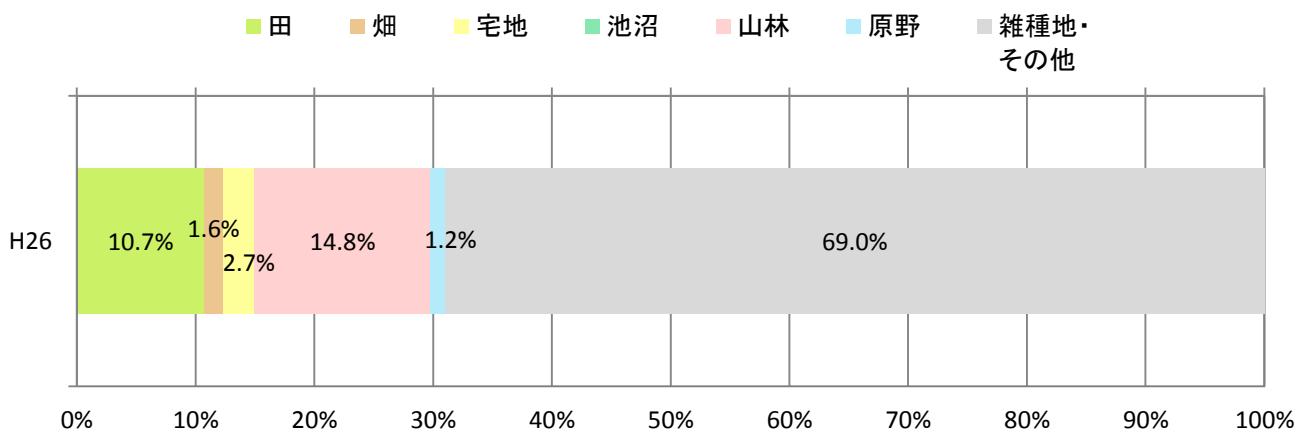
■地目別土地利用面積

(ha)

		田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地・その他	総数
H6	面積	6,284.1	1,015.0	1,270.3	6.0	9,320.0	750.9	39,835.8	58,482.0
	比率	10.7%	1.7%	2.2%	0.0%	15.9%	1.3%	68.1%	100.0%
H16	面積	6,270.9	937.6	1,467.8	5.9	8,686.8	751.2	40,362.0	58,482.0
	比率	10.7%	1.6%	2.5%	0.0%	14.9%	1.3%	69.0%	100.0%
H26	面積	6,259.9	931.5	1,558.3	5.8	8,639.5	722.5	40,364.5	58,482.0
	比率	10.7%	1.6%	2.7%	0.0%	14.8%	1.2%	69.0%	100.0%
H6からH26の増減	面積	-24.2	-83.5	288.0	-0.2	-680.5	-28.4	528.7	0.0

資料：県市町村課「固定資産の価格等の概要調書」

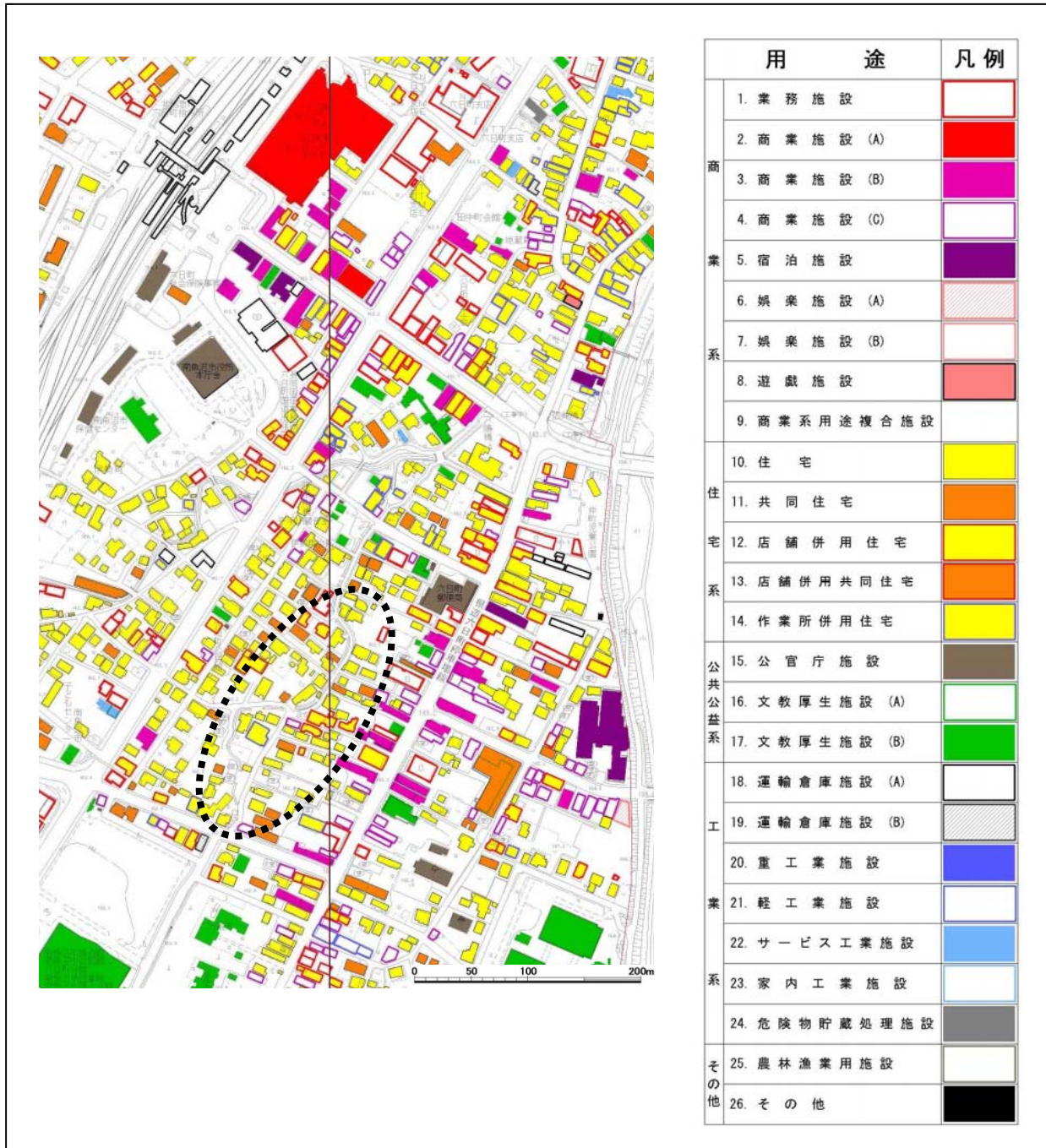
※比率は四捨五入のため合計が 100%にならない



③建物密集状況

六日町市街地の中心部にある古くからの市街地では、建物が比較的密集している地区がみられます。当該地区内は狭幅員道路や見通しのよくない道路が通っており、緊急車両の走行などに支障をきたすおそれがあります。

■建物密集地区(六日町市街地)

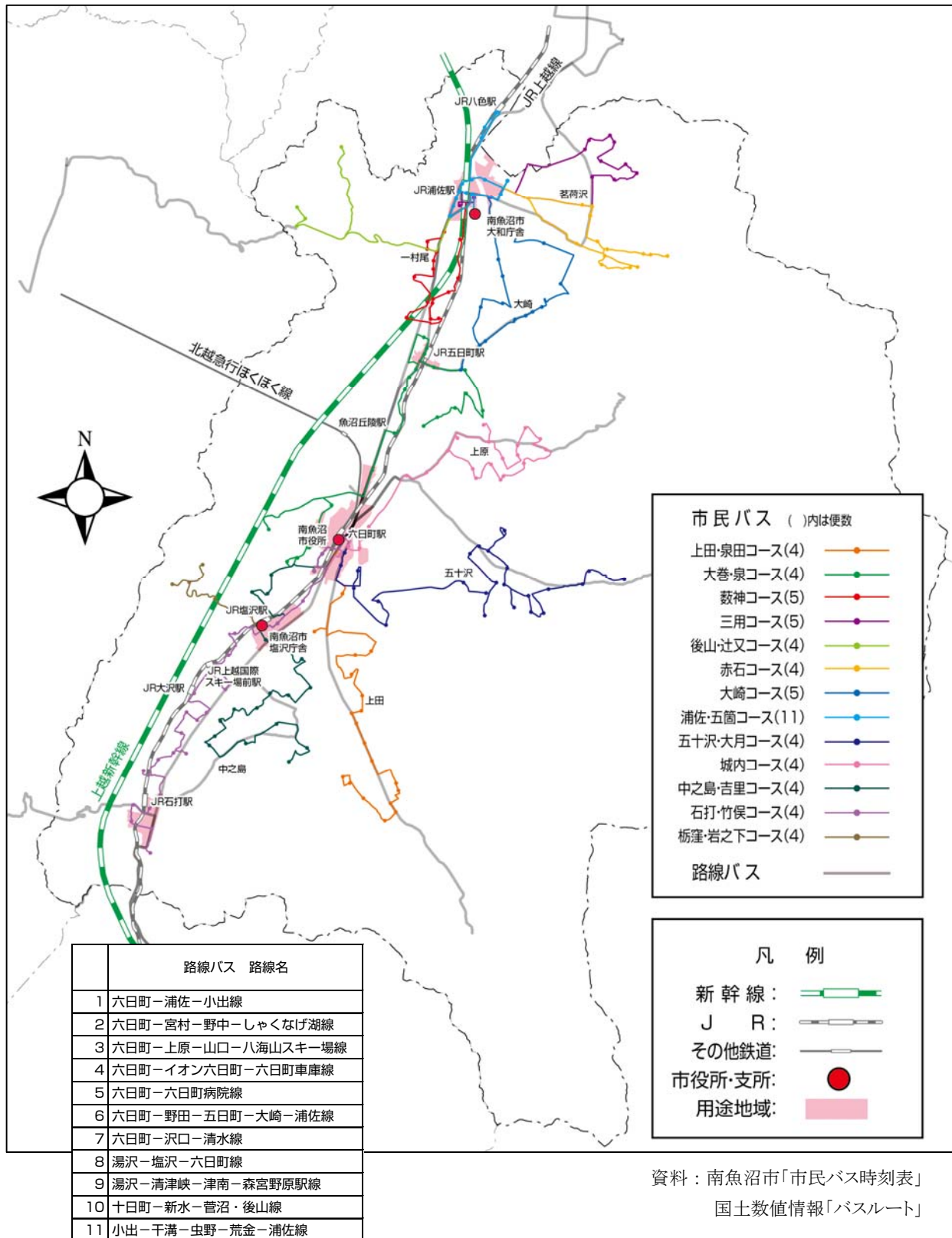


資料：H20 都市計画基礎調査

市内には現在 13 路線の市民バスが運行しており、集落と公共公益施設等を結んでいます。運行頻度は、最も多い浦佐・五箇コースで一日当たり 11 便であり、それ以外のコースでは 5 便又は 4 便となっています。

路線バスは全 11 路線が整備されており、近隣の魚沼市や十日町市、湯沢町、津南町とも連絡しています。

■ 公共交通



(7) 市街地整備状況

①面整備状況

本市においては、昭和 50 年代に5事業、昭和 60 年以降に2事業の土地区画整理事業が施行されています。

■土地区画整理事業

事業名	都市計画決定		事業主体	認可年月日 (公告日)	施行面積 (ha)	事業費 (千円)	施行年度	公共用地率 (%)		減歩率 (%)			換地処分 年月日 (公告日)
	面積 (ha)	年月日						前	後	公共	保留地	合算	
浦佐駅東口土地区画整理事業 (旧大和町)	—	—	共同	S50.01.28	2.0	40,000	S49～S50	8.68	26.48	18.9	4.8	23.7	S50.05.06
六日町駅裏土地区画整理事業 (旧六日町)	—	—	組合	S50.07.11	16.4	303,890	S50～S55	10.70	25.94	17.1	9.6	26.7	S53.03.31
浦佐北島土地区画整理事業 (旧大和町)	—	—	組合	S50.10.07	2.3	54,384	S50～S52	18.39	25.27	7.9	21.2	29.1	S52.10.14
南魚沼都市計画事業 浦佐駅東土地区画整理事業 (旧大和町)	21.7	(S52.08.09) H19.04.01	組合	S52.09.30	21.7	903,467	S52～S57	12.36	35.61	26.5	0.7	27.2	S57.06.25
南魚沼都市計画事業 浦佐駅西土地区画整理事業 (旧大和町)	18.3	(S53.08.16) H19.04.01	市	S53.11.01	18.3	2,735,288	S53～H3	14.56	29.20	17.1	5.6	22.7	H03.07.26
南魚沼都市計画事業 樋渡土地区画整理事業 (旧塩沢町)	18.1	(S60.06.07) H19.04.01	市	S60.12.10	18.1	1,482,000	S60～H5	11.41	27.26	17.9	7.1	25.0	H05.08.17
南魚沼都市計画事業 来清地区沿道土地区画整理事業 (旧塩沢町)	2.8	(S61.02.14) H19.04.01	市	S61.08.21	2.8	471,000	S61～H4	16.01	25.09	10.6	—	10.6	H05.03.02
計			7		81.6								

()書きは当初年月日 資料：「新潟県の都市計画 一資料編一」(平成 26 年版)

②都市計画道路

本市における都市計画道路は 48 路線で、延長 56,910m を都市計画決定しています。整備済延長は 28,215m で、完成率は 49.6%となっています。平成 26 年3月末現在では、16 路線が未整備となっています。

■都市計画道路延長等

路線数	延長 (m)	完成延長 (m)	完成率 (%)
48 路線	56,910	28,215	49.6

資料：「新潟県の都市計画 一資料編一」(平成 26 年版)

■未整備路線一覧

路線番号	路線名称	延長(m) ()は全体延長	完成済延長 (m)	完成率 (%)	最終決定 年月日
3. 4. 3	芹田北島線	1,230	1,000	81.3	H19.04.01
3. 4. 4	市野江本町線	1,360	0	0	H19.04.01
3. 4. 5	鰻島浦佐線	1,860	1,293	69.5	H19.04.01
3. 4. 6	浦佐茗荷沢線	1,770	1,020	57.6	H19.04.01
3. 6. 7	上島前島線	380	0	0	H19.04.01
3. 4. 8	市野江浦佐駅前線	1,340	540	40.3	H19.04.01
3. 5. 9	本町新町線	590	0	0	H19.04.01
3. 4. 10	浦佐黒土新田線	3,560	1,750	49.2	H19.04.01
3. 4. 11	八色大崎線	980	0	0	H19.04.01
3. 4. 12	国道 17 号浦佐バイパス線	3,600(6,590)	1,940	53.9	H19.04.01
3. 4. 13	八色の森公園通り線	660	540	81.8	H19.04.01
3. 4. 14	田町線	220	0	0	H19.04.01
3. 6. 15	田町上島線	270	0	0	H19.04.01
3. 4. 16	六日町停車場線	610	350	57.4	H19.04.01
3. 4. 17	中央南線	1,980	1,510	76.3	H19.04.01
3. 4. 19	六日町本町線	1,850	0	0	H19.04.01
3. 6. 20	小出大崎六日町線	750	0	0	H19.04.01
3. 5. 21	県道六日町十日町線	1,300	1,080	83.1	H19.04.01
3. 5. 26	余川小栗山線	1,720	860	50	H19.04.01
3. 3. 28	国道 17 号線	8,200	0	0	H19.04.01
3. 4. 29	国道 253 号線	1,110	0	0	H19.04.01
3. 4. 30	竹俣泉田線	1,230	250	20.3	H19.04.01
3. 4. 31	坂戸泉田線	1,930	1,818	94.2	H19.04.01
3. 4. 33	塩沢中央通り線	530	0	0	H19.04.01
3. 5. 35	樋渡東西線	620	340	54.8	H19.04.01
3. 4. 39	石打大通り線	2,070	1,900	91.8	H19.04.01
3. 4. 40	丸山通り線	1,240	993	80.1	H19.04.01
3. 5. 41	伍社線	710	201	28.3	H19.04.01
3. 5. 42	石打駅前通り線	460	0	0	H19.04.01
3. 5. 43	石打中央線	1,120	0	0	H19.04.01
3. 5. 44	古城線	410	0	0	H19.04.01
3. 5. 45	石打南線	150	0	0	H19.04.01
8. 7. 1	浦佐東西線	270	0	0	H19.04.01
計	33 路線	46,080	17,385	-	-

出典：「新潟県の都市計画 一資料編一」(平成 26 年版)

③都市公園・緑地

本市では、16カ所(35.87ha)の公園・緑地が都市計画決定されており、15カ所(30.38ha)が開設されています。

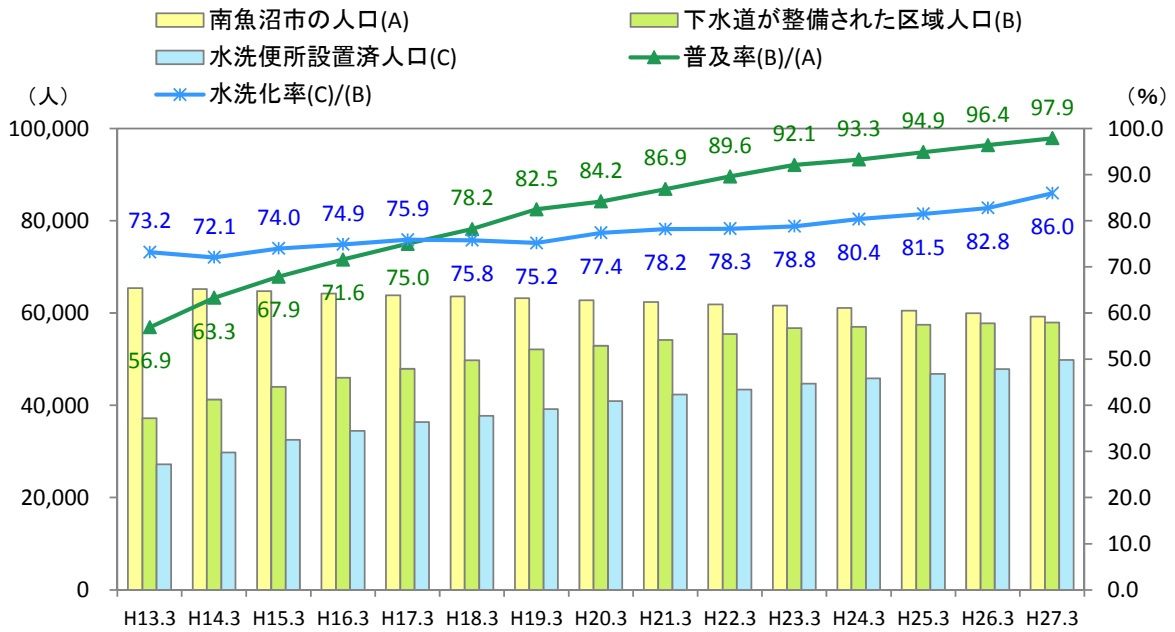
種別		箇所	面積(ha)		未開設公園
			計画決定	開設	
公園	街区公園	11	2.30	2.30	
	近隣公園	1	1.10	-	樋渡公園
	運動公園	1	16.80	12.41	大原運動公園(一部供用済)
	広域公園	1	15.30	15.30	
緑地		2	0.37	0.37	
合計		16	35.87	30.38	

資料：都市計画公園「新潟県の都市計画 一資料編一」(平成26年版)

④下水道

南魚沼市では、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水処理事業、浄化槽市町村整備推進事業により下水道の普及に努めています。平成27年3月末時点の整備率は、97.9%となっています。

■下水道の普及



※普及率:行政人口に対する、下水道が整備された区域に住む人口の割合

※水洗便所:個人設置の浄化槽施設は含まない

※水洗化率:下水道が整備された区域に住む人口に対する、実際に下水道を利用している人口の割合

(8) その他

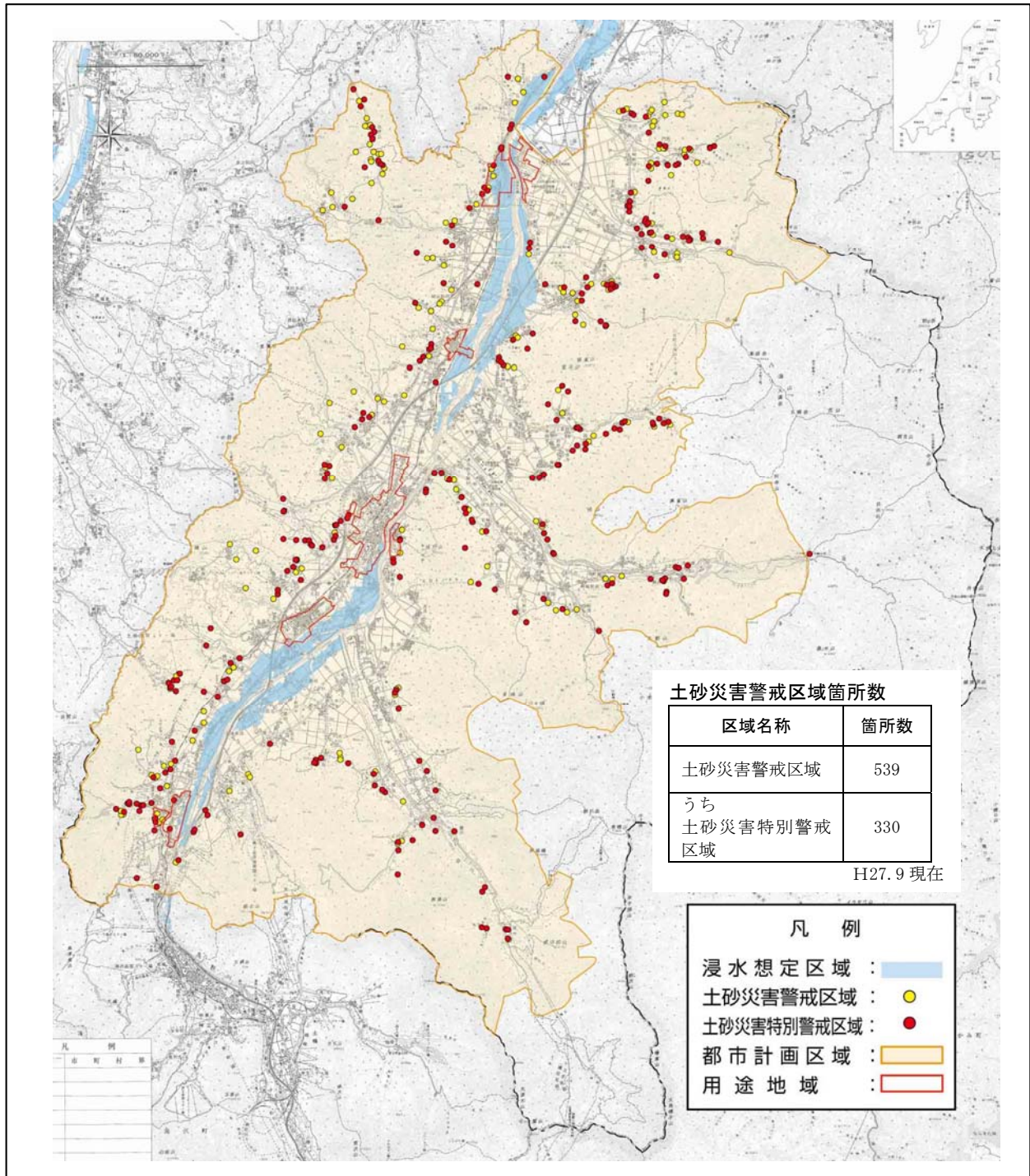
①災害リスク

山林地域と平野部の境界付近を中心に土砂災害警戒区域が 539 箇所指定されています。

また、大雨による河川の氾濫などにより、浸水被害が想定される区域(浸水想定区域)が魚野川沿岸に分布します。

土砂災害警戒区域、浸水想定区域はともに、既定用途地域内にも分布がみられます。

■南魚沼市の土砂災害警戒区域・浸水想定区域状況



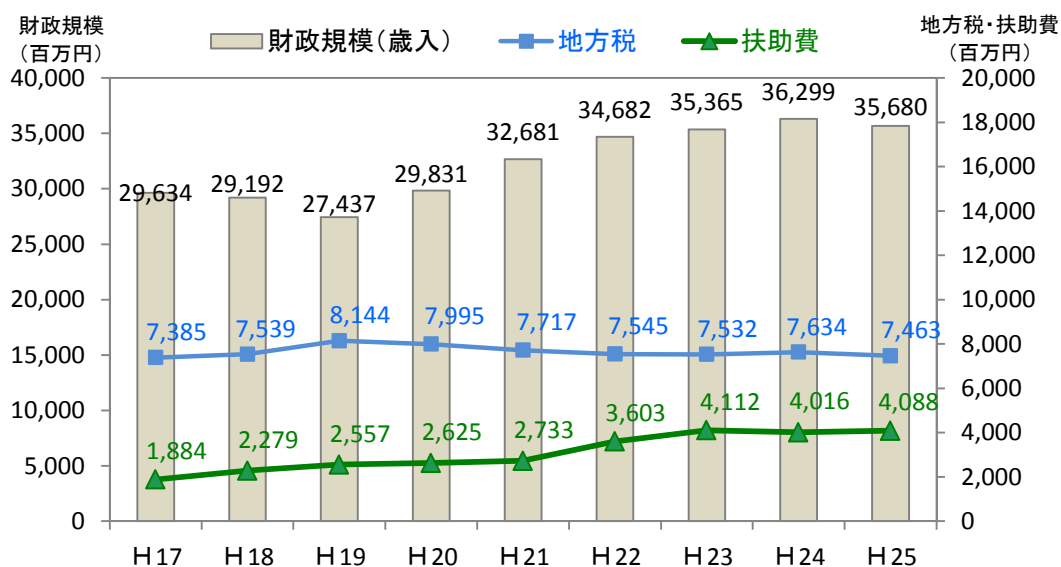
資料：新潟県HPより作成

②財政

南魚沼市の財政状況をみると、財政規模は平成19年から増加傾向となっていました、平成22以降は350億円程度の横ばい状態となっています。

歳入のうち、市民税や固定資産税などが含まれる地方税は、平成19年以降減少傾向にあります。一方、児童・高齢者・障がい者などを対象とした社会保障制度の一環として利用される扶助費は増加傾向にあり、平成17年から25年の8年間で倍以上となっています。

■南魚沼市の財政状況



資料：総務省決算カード

■南魚沼市の財政状況(平成25年度)

(百万円)

歳入：35,680			歳出：34,437		
地方税	7,463	20.9%	人件費	5,020	14.6%
地方交付税	11,012	30.9%	扶助費	4,088	11.9%
地方債	4,953	13.9%	公債費	3,950	11.5%
その他	12,251	34.3%	その他	21,380	62.0%

2. 合意形成の実施状況

(1) 南魚沼市都市計画マスタープラン策定の経緯

年月日	事項	内容
H27. 7～8	市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・南魚沼市の住み心地、イメージ ・都市政策のあり方 ・個別の都市施策 など
H27. 7. 1	第1回 庁内策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項の確認 ・策定の進め方
H27. 8. 28	第2回 庁内策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・市の現状、意向調査結果 ・課題認識、将来目標
H27. 9. 15	市報みなみ魚沼 平成27年9月15日号 掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果（概要） ・計画の策定に向けて
H27. 11. 27	第3回 庁内策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別構想の協議 ・地域別構想の協議
H28. 1. 15 ～2. 1	地域づくり協議会を通じた 素案の縦覧	<ul style="list-style-type: none"> ・計画概要の照会
H28. 1. 15	市報みなみ魚沼 掲載 平成28年1月15日号 掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像、基本目標 ・全体構想、地域別構想
H28. 1. 26	第4回 庁内策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・実現化方策の協議 ・計画内容の確認 ・今後の予定
H28. 2. 5 ～2. 19	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案について意見募集
H28. 3. 29	南魚沼市都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の承認

(2) 南魚沼市都市計画マスタープラン庁内策定委員会名簿

所 属	氏 名
【委員】	
企画課	片桐 克巳
総務課	梶山 伸也
消防本部 警防課	馬場 俊一郎
農林課	金井 進
商工観光課	南雲 康一
建設課	柴田 和博
下水道課	貝瀬 好彦
廃棄物対策課	原澤 健一
環境交通課	西潟 英男
大和市民センター	渡邊 功
塩沢市民センター	桑原 信郎
【事務局】	
都市計画課 課長	高橋 正晴
都市計画課 都市計画係	大塚 智明
都市計画課 都市計画係	井口 峰
エヌシーイー株式会社 都市環境部	小見 直樹
エヌシーイー株式会社 都市環境部	中澤 元孝
エヌシーイー株式会社 都市環境部	吉川 佐和

南魚沼市 都市計画マスタープラン

発行：平成 28 年 3 月

編集：南魚沼市 建設部 都市計画課

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町 180 番地 1

TEL 025-773-6662

FAX 025-772-8659

E-mail toshikei@city.minamiuonuma.lg.jp